

小樽を中心とした後志地域におけるヒューマンストーリーを活用した新たな観光資源の開発

プロジェクト代表者: 江頭 進

【プロジェクトの概要】

本プロジェクトは小樽を中心とした後志地域におけるヒューマンストーリーを活用し、新たな観光資源の開発を目的としています。具体的には朝の連続テレビ小説のモデルとなった竹鶴政孝とリタ夫妻に着目し、ゆかりのエピソードや場所について生活史・社会史的な観点から調査研究を実施しました。研究成果に基づき様々な情報発信の取り組みを行い、観光客・市民・学生に周知しました。

【プロジェクトの主な活動実績】

●パネル展「余市・小樽における竹鶴政孝とリタ夫妻」の開催

余市・小樽での竹鶴政孝とリタ夫妻の足跡をテーマに、本プロジェクトの調査研究で明らかになった情報や写真を盛り込んだパネル展を開催しました。図書館、JR小樽駅等の公共施設、本学図書館、雪あかりの路等の各種イベント会場で展示することで、幅広い観覧者に観ていただくことができました(11回開催)。

●各種情報発信

北海道庁や各種団体主催の講演会・シンポジウムでの講演、NHK主催イベント出演、NHKやFMおたるの番組制作協力・出演、進化経済学会北海道大会での報告など、様々な媒体で研究成果の情報発信を行いました。

●成果をまとめた冊子発行

研究成果および活動をまとめた冊子を発行しました。公共施設や観光施設、小樽商科大学で配付し、観光客、市民、学生に研究成果を周知しました。

【プロジェクトの成果】

余市・小樽における竹鶴政孝とリタのヒューマンストーリーは、これまでほとんど知られておらず、新たなゆかりのエピソードや場所を発見することができました。日本のウイスキー創始者としてだけでなく、余市・小樽そして後志地域に関係の深い人物として、竹鶴夫妻を地域資源・観光資源として新たに位置づけることができました。今後の課題はドラマ終了後の地域資源としての定着化です。

